



# 週報

2015～2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン  
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』  
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー  
第 2570 地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511  
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp  
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

### 第 1077 回( 3 月 15 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長  
合 唱 我等の生業  
第 2 副 SAA 田端君 高田君  
卓話講師 高柳 清 様 公認会計士  
(元狭山ロータリークラブ)

#### ※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	26名	71.43%	82.35%

#### 会長の時間

江原会長

こんにちは。本日は元狭山ロータリークラブパスト会長の高柳清様にお越しいただいております。外来卓話をお引き受け下さっておりますので、皆様楽しみにして下さい。高柳様、宜しくお願いいたします。

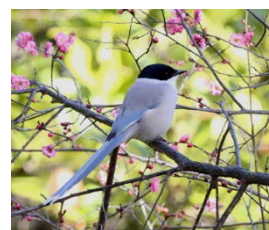


それでは私の話に移らせていただきます。皆様、狭山市の「木」といったら何の木でしょうか。そうですね、皆様よくご存じの『お茶』の木です。では、狭山市の「花」は何の花でしょうか。そして狭山市の「鳥」はどの鳥でしょうか。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、「花」は『ツツジ』で、「鳥」は『オナガ』です。今日は、この狭山市のシンボルについてお話ししたいと思います。

『お茶』の木については、当クラブには専門の方が多くいらっしゃいますし、過去にも「お茶」に関

しては沢山の情報や知識を得る機会がございました。より詳しい知識をお求めの方は、お茶をご購入いただく際にお聞き下さることをお勧めいたします。よって今回は割愛させていただきます。

『ツツジ』ですが、主にアジアに広く分布し、ネパールでは国花となっています。日本ではサツキやシャクナゲなどをツツジと分けて呼んでいますが、それらはツツジ属の中に含まれておりますので、学術的な分類とは異なるそうです。そして、ツツジ属を調べていくとその内訳が実に細かくなっており、それぞれに大変多くの種類がございましたので、このツツジについても今回は割愛させていただきます。よって、今日は『オナガ』についてお話しさせていただきます。



『オナガ』という鳥は、スズメと同じく日頃私たちがよく見かける鳥ですが、頭には黒い帽子でもかぶっているかのような濃紺の羽毛があり、咽喉元から後頭部と背の境界面が白色で、胸と腹は灰色ですが、背中濃く濃い灰色となっており、そしてなにより目立つのが翼と 20cm～23cmもある長い尾羽が青灰色(尾羽の先端は白い)になっている点ではないかと思えます。全長が 34cm～39cmと、キジバトより一回りも大きいのですが、頭と体の大きさはムクドリほどであり、この尾羽の長さが名前の由来となっています。『オナガ』は留鳥で、日本では 1970 年代まで本州全土と九州の一部で観察されていましたが、1980 年代以

降西日本での繁殖は観察されておらず、現在では本州の石川県以東と神奈川県以北で観察されるのみとなっており、わずか10年足らずで西日本の個体群が姿を消した原因は全くわかっておりません。ただし、九州の個体群については近年になって分布を拡大し続けているカササギ（別名カチガラス・コウライガラス）との競争に敗れたという説があるそうです。

『オナガ』は実はカラスの仲間です。樹木や塀あるいは電線などに停まっている凜とした姿や、美しい姿で優雅に飛んでいる様子からはなかなか想像できませんが、普段の鳴き声には品のかけらもありません。我が家の狭い庭にもよく来ており、静かな時はその姿にみとれているのですが、危険を察知した時などは「ギューイギューイ」「ゲー、ギー」などと汚い鳴き方をしています。ちょっとがっかりですがカラスの仲間と思えば多少納得できます。ただ、これは警戒音声であって、繁殖期のつがい同士などでは「チューイ、ピューイ、チュルチュルチュル」など愛らしい声で鳴き交わす様子も観察されているそうです。比較的明るい森林や竹林を好み、森林に近接する市街地など人の生活の近くに住んでいて、本当の自然林には住むことはないようです。17・8羽から35羽ほどまでの群れを作り、それ以上になると群れも別れていくようです。

私は、『お茶』の木・『ツツジ』の花、そして鳥は『オナガ』を狭山市のシンボルにした背景を知りませんが、もしかしたらそれぞれが身近に目にしているものであり、美しく親しみを覚えるものであるからなのかな、と今回調べていて感じました。どなたかご存知の方がいらっしゃいましたらお教え下さい。

## 幹事報告

小島幹事

1. 国際ロータリー年次大会（On To Seoul）ガバナーズナイト開催について。
2. 狭山市交通安全対策協議会より春の全国交通安全運動に係る広報啓発活動実施について。
3. 「交通安全啓発のぼり旗贈呈式」狭山ケーブルテレビ放映日程について。

4. 受贈会報 入間RC 所沢RC

5. 回覧物 ハイライトよねやま 192

医療法人尚寿会広報 第102号

## 委員会報告

R情報・雑誌

清水委員

縦書 表紙は、一瞬私マトリョーシカの親戚のお人形かと思いましたが、人間だそうで、台湾の高校にインターアクトクラブの親善訪問で訪れた時に歓迎式典が催され、4千人に達する学生たちが様々な演目で熱演した時の一コマだそうです。題材は「先客萬来」と書かれております。

横書 表紙は、「梅とめじろ」ということで、大分県の非常に有名な所の情緒のある写真です。不謹慎にも、子供の頃にめじろ捕りをしたことが非常に思い出された一コマであります。

今月は例会一覧表がついております。

【横書】

12頁～17頁にかけて、東日本大震災から5年ということで、記事が2つ載っております。「ロータリー希望の風奨学金…5年間の活動を振り返って」は秋田県のクラブの方が書かれております。

22頁～25頁に、今期もあと3か月ということで、国際ロータリー会長エレクトのジョン F.ジェーム氏に関する記事が出ております。

【縦書】

4頁～8頁にわたって、愛知教育大学の仲井名誉教授が、「人は自然災害とどう向き合うか」ということについて書いております。

9頁～11頁「わがまち…そしてロータリー」には、隣の町、川越市が取り上げられております。「サツマイモの町から観光の町へ」から始まり、「川越を川越たらしめたのは自分たちという自負と誇りを持つ川越商人」と興味深く書かれております。活気を帯びております現在の川越市と重ねてお読み頂ければと思います。

13頁「友愛の広場」、先週パスト会長の時間で小幡先生がクラブの会長のお話をしていただきましたが、米寿のクラブ会長のお話が出ておりましたので、是非ご一読頂ければと思います。

## 佐藤圭司会長エレクトより

先日の土曜日に、ロータリー財団の補助金問題の件で国立女性会館に行って参りました。そして日曜日はPETSで1日勉強を致しました。非常に勉強になりましたので、その内容はまたまとめてきちんとご報告致します。

## 「外来卓話」・・・・・・・・

…紹介… 佐藤圭司会長エレクト  
狭山市中央のスーパーマルエツの近くにありますが、高柳公認会計士事務所の会長をされております、高柳清様に卓話をお願いしております。宜しくお願ひ致します。

## 『粉飾決算と監査』

公認会計士 高柳 清 様

(元狭山ロータリークラブ)



自己紹介を兼ねて、ロータリーの思い出をお話させていただきます。ロータリーに入ってお知り合いになった方が沢山いらっしゃいます。

昭和54年~55年にかけて、四十七士の隠密行動が始まりました。こう言うとわかる人はわかるのですが、要するに中央ロータリーを誕生させようという動きが始まったのです。私なんかはつまはじきの一人でしたし、狭山ロータリーにそのままいけば良いとしておりましたが、平成5年の中央ロータリーの誕生の時には、私はホームクラブ、狭山ロータリーの会長をしておりました。色々な委員長を致しまして、このまま無事にいくだろうと思っておりましたら、ある日突然中央ができるという話になり、大慌てをしたということ、今も懐かしく思い出します。

私のロータリーは昭和50年、45歳の時に始まりまして、それから約40年おりました。色々なことをやって、ロータリーの役職の中では、当時は分区代理という制度でございましたので、ガバナー補佐の前の最後の分区代理を致しました。そしてもう一つ、会計という仕事をしているせいで、監査報告を2回程やらされました。1回目は大分前ですが、2回目はついこの間、所沢の中井ガバナーの年度に致しました。そんなことで本当に40年近く、のりくらしとロータリークラブの生活を送りまして、しかし残念ながら人数の減少ということで、最後は10人も切りましたので昨年狭山ロータリーは閉めるということになり、私も当然辞めるべき運命で辞めたという事でございます。

それからかれこれ半年になりますが、今日は本当に皆さんの温かい友情に恵まれて、そして佐藤さんの熱意に負けまして、いつもマッサージでお世話になっているので、まあいいだろうと、いい気持になって言ってしまったのが大間違いでした。確定申告の真っ最中、私の事務所の書き入れ時に、資料集めをさんざ行いまして、今日を迎えたわけです。今日のスピーチをするにあたってテーマを考えたのですが、ちょうど東芝やシャープの問題が起きましたので、粉飾決算のような話が私の仕事には相応しいと思い、テーマに致しました。

私がロータリーに入った時、イニシエーションスピーチで、何を話したかは忘れたのですが、もともと理系の学生だったものですから数学か理科に関係のあるようなスピーチをしてしまいました。ロータリー会員の層がどういう層か理解しないまま、講義をするようなつもりでしてしまったという大失敗の思い出があり、もっと自分のことでも率直に話せば良かったと、恥ずかしい思い出としていつも思い出されます。

今日もややそれに近く、「粉飾決算と監査」という大きなテーマを取り上げたのですが、自分で見ていくうちにこれでは難しすぎると、ましてや決算のことを理解してもらおうと思うと、経理の借方、貸方等聞いたことが無い方もいらっしゃいますし、普段決算書を見る中小企業の社長さん達はお分かりになるでしょうが、そうでない方、今日も10名欠席という事で、やはり私のテーマが悪かつ

たせいではないかと思っております。女性会員が9名いらっしゃるということ、女性は特に興味がな  
いかと思いますし、粉飾決算とはどのみち汚い世  
界ですので、あまり面白い話は出てきません。それ  
で考えましたのは、もう一つ税務調査、いわゆる監  
査ですが、一般的に利益を増やそうとするのが粉  
飾決算ですが、逆粉飾は、上場企業が中心ですが、  
在庫の水増し等をする事です。実は中小企業も  
在庫の水増しを決算で行う事もありまして、在庫  
とは一番決算操作で使われやすく、一期限りで予  
期は洗い替え、また変わってしまうわけです。非常  
に似たようなテーマの表と裏のような世界ですの  
で、税務調査の話をしつづけました。30分ではと  
ても講義ができる内容ではないので、駆け足での  
説明となりますが、初めに話の内容をご紹介します  
て頂きました。

それ以外に私の自己紹介をさせていただきますと、  
私の事務所は一応、公認会計士事務所という名前  
になっておりまして、個人事務所です。2人男の子  
がおりますが、2人ともたまたま私の職業を継いで  
しまいまして、親子3人、共食しているような  
状態でございます。現在私は会長職をしております。  
コンピュータ時代ですので、私なんかの知識は  
どんどん遅れてまいりますし、今は子供たちに人  
生の知恵を少し授けられれば良いなと思いつなが  
らしている毎日でございます。

本題に入りますが、たまたまここ数か月、東芝と  
シャープの不正会計が新聞をにぎわしております  
ので、皆さん新聞を通じてその2社のことはよく  
理解していらっしゃると思います。自分の家庭  
で見ても、歯を磨きながら隣を見ると洗濯機が東  
芝であったり、テレビを見るとシャープの亀山モ  
デルであったりと、家庭の生活面においては2社  
に非常に世話になっております。今白物家電、あ  
あいったものが非常に売れなくなっているとい  
うことで、一巡をしてしまったのでしょうか、非常  
に大変なのだと思います。

粉飾のタイプを項目別に並べてみました。

資料1 ページ目 (1) 粉飾のタイプ

## 1.資産の水増し型

売掛金の水増しというのは一番あり得るものです。

## 2.循環取引による粉飾

循環取引とは分り難い言葉なのですが、実際に子  
会社などを使って取引をしたように見せかけ、書  
類を作ってしまうということ。しかも代金  
の決済までしてしまい、そしてどこかでお金を戻  
すという取引ですので、粉飾決算としては非常に  
探しにくいということになります。

ところで今監査の話を始めましたが、私正直言  
いますとあまり監査はやっておりません。私は全  
て奥手で、試験も非常に遅く、昭和5年生まれで  
大学はほどほどに出たのですが、上手い就職がで  
きず、そして給与を遅配するような会社に入っ  
てしまい、この会社においても仕方がないと思っ  
た。しかし上場会社の端くれだったもので、昭和30  
年に会計士の監査が既に始まっていたのです。そ  
してその先生たちが大学の先輩で、よく見ており  
ましたら、当時はまだコンピュータも電卓もない  
時代でしたので、そろばんを持ってきて、そろばん  
をしながらゆっくりゆっくり監査をしていたので  
す。これならば私にもできそうだと思います。それ  
では勉強をしてみようと、就職後、25歳から勉強を致  
しました。試験に合格するまでに、柳に飛びつく蛙  
ではありませんが、5回飛びつきました。5回目  
でもう辞めようかと思った時にたまたま救い上げ  
てもらいましたので、それではその世界にという  
ことで、最後に3次試験というものがあるのですが、  
そこまで終わったときには既に38歳でした。普通  
の人のコースからは10年遅れております。

監査の世界へはそこから入りまして、監査法人  
と言われるものがちょうどできた頃で、5~6年  
はそのお付き合いを致しました。しかし当時私の  
記憶で言いますと、監査とは実は退屈するのです。  
どういう事かと言いますと、会社に行きまして資  
料を見るのですが、証拠を残さなければなりません  
ので、結局何の資料にしてもコピーを取ってら  
うのです。例えば今だからお話致しますが、ブリ  
ヂストンタイヤという会社の東京工場がございま  
すが、そこへ行き原価計算を見ていても、はっきり  
言うとあまり良く分からないのだけれども、とに  
かくコピーを取れという事で、コピーだけはたく  
さんもらって、それで仕事が終わってしまうとい  
った感じでした。

具体的な監査的な事としては、棚卸の立会、そして売掛金の確認等を行いました。5~6年やっているとうちに少し消化不良になってきて、50歳の時に監査で飯を食う事はやめようと思いはじめました。

それで税理士業、会計士はたまたまその資格のまま税理士業の登録ができるものですから、税理士業に入りました。しかしこれはこれで入った途端、がっかり致しました。入ってすぐの中小企業でしたので、夕方、夕飯時になりますと子供がくるのです。ちゃぶ台の上でご飯の話が始まるわけですが、その脇で私は仕事をしているわけです。大会社の監査と比べると少しみじめな思いを致しましたが、しかしそのみじめな思いをしながら、税理士業もほぼ会計士業と一緒にやってきました。何十年とやってきました、今の本業はどちらかというと、昔「欲望という名の電車」という映画が昔ありましたが、公認会計士という税理士だと私は自分でそう呼んでおります。両方の世界を知ったという言う意味では良かったかなと思います。

### 3.利益の先食い

これは在庫です。在庫の水増し等と言ったこともございます。

### 4.繰延税金資産

これは少し難しいのですが、このような科目もございます。

### 5.「のれん」の操作

「のれん」とは簡単に言いますと営業権で、日本の企業の場合には、必ずお金を出して買った「のれん」でないと挙げてはいけないということで、見積もりで挙げるものではないという事なのですが、これも今国際会計基準と日本の基準とありますので、国際会計基準で言うと「のれん」は償却しないで良い、実際に役に立たないときに一度に償却すれば良いという解釈のようです。しかし日本ではだいたい5年で始まりまして、現在が20年、その間の適当な年数で償却するということが、「のれん」の処理の仕方となっています。

粉飾のタイプも色々ありますが、次に事例に入っていきます。

粉飾の歴史とは実は色々ありまして、会計監査の制度も一番強力なのはアメリカです。2001年にエ

ンロン事件という大きな事件があって、エネルギーの大手の会社だったようですが、これが大きな事件に発展し、これから監査制度が非常に厳しくなっていくということです。

カネボウという会社は非常に古く、明治20年に始まった会社だそうですが、長々と粉飾を繰り返したということです。産業再生機構を受けて化粧品事業を花王へ譲渡したというのが平成2年頃、そして平成2年の決算を見ると、現預金が631億円あったものが、平成15年、13年の間に90億円と非常に減ってきております。最後に帆足というし有名な社長がいたそうですが、800億円という粉飾決算で起訴されて、懲役2年、執行猶予つきという事で、公認会計士も3名が起訴され、懲役1年半から1年ということでした。この時監査法人の中央青山も、平成19年に業務廃止にまで追い込まれたという、非常に大きな粉飾決算でありました。

ライブドアは皆さんご存知だと思いますが、堀江貴文が東大の学生の時に会社を創りました。彼は最近テレビによく出ておりますが、堀江さんはライブドアという会社を創って上場致しましたが、インチキ決算を色々やったということで、株式の売却益というのがあるのですが、この売却益を事業収益に振り替えたということです。そんなことが上手くできたのかというような決算をしたようなのですが、それで株の時価をどんどんとあげ、非常に調子が良かったのですが、平成18年に家宅捜索を受け、証券取引法違反で逮捕されたということです。この時にはやはり監査法人も処分を受けておまして、その監査法人も解散をさせられているということです。

古い事件を申し上げますが、山陽特殊鋼事件、テレビドラマ等でも色々ありましたが、これは昭和38年頃の事件です。これも粉飾決算で、やはり監査法人も処分を受けたという大事件でした。そしてもう一つ日通事件というものもありまして、昭和44年、たまたま私の同期生がこの会社の監査法人職をしておりました。全国的な粉飾決算の影響を受けて、監査する側も全国的な組織で後追いの監査をさせられたという大事件で、私の友人も処分を受けたという事件がありました。

証券取引法という名前は、現在金融商品取引法という名前に変わっております。

オリンパスの事件が今終末を迎えようとしておりますが、オリンパスとは大正 8 年設立の、内視鏡では国際的にトップクラスの会社ということでございます。金融商品への投資の失敗が重なり、最後はおかしくなっていってしまったということですが、ところが今非常に復活してきております。一度粉飾をしても立ち上がれば、元を取り戻すことも無い訳ではないという一つの例だと思います。

スカイマークの事件は比較的新しく、スカイマークとは LCC（ローコストキャリアー）の先駆けです。なぜ失敗したかと言いますと、エアバス 6 機を発注し、これが 1900 億円の契約に変わってしまいましたようで、要するに売り上げが少ない、100 億円もないのに何百億と投資をしてしまったわけで、自殺行為をしてしまったということです。ところがこれも最近次の社長が決まり、いずれ上場かということですので、一度粉飾しても立ち上がれば、企業というものもしっかりしているのだという一つの例でございます。

シャープの話も色々ありますが、シャープペンシルから始まって、昭和 40 年頃電動計算機、当時給料が 10 万円もない時代に 40~50 万円も致しましたが、その電動計算機を私の勤めている工場でも買ったりと、非常に有名でユニークな会社でした。シャープは何がいけなかったかと言いますと、液晶かなにか、技術的なことはわかりませんが、その投資への失敗で結局は行き詰ったということです。大会社の一つですが、比較的独立独歩の会社できたようです。最近の報道では台湾の鴻海という会社が 7000 億円で買収ということで、そろそろ結論が出る時期だそうです。これも三菱とみずほ銀行のプッシュがあったということで、いわゆる産業改革機構のお膳立てでは載らないということになっているようです。

次は東芝ですが、東芝とはもちろん大会社でございます。連結とはご存知でしょうか、今大企業は何百社という子会社、グループを集めて、簡単に言えば合計した表を決算書として公表致します。もちろん単体もございますが、連結決算がほとんどとなっております。東芝の場合も昨年 3 月期で連

結の会社が 585 社、従業員が約 20 万人、売り上げが約 6 兆円ということです。これも粉飾が色々あって、歴代の 3 人の社長たちの指示で粉飾決算が行われたということなので、もちろん支払いは出来ないでしょうが、今責任追及で 32 億円の賠償請求までされているということです。

監査法人（新日本監査法人）も監査のやりなおしをしたので 21 億円の追加報酬の支払いと、非常に慌ただしい動きです。しかしこの東芝もそろそろ、東芝メディカルシステムズという医療機器が良いので、CANON が賠償に応じると、4000 億円位の数字が出ております。

今日の朝刊を見ますと、東芝の白物は台湾の企業が買収に応じると出ておりました。これは 500 億円とか、そういった単位だそうです。とにかく大きな会社を処理するためには、買収や合併をしなければならぬという事ようです。

監査法人の勢力図がありますが、新日本監査法人は今大揺れに揺れており、恐らく会計士が辞めていくということがあられるでしょうし、かなりの人数の会計士を抱えております。この表は日経ビジネスの表からとったのですが、3500 人とはトップクラスですし、売り上げは 991 億円あるということです。参考までに、公認会計士とは何人くらいいるのかということで調べてみましたところ、約 27800 人で、そして監査法人の数も非常に多く 217 もあるようです。

逆粉飾のお話を少ししますと、税務調査コボレ話ということで、税務職員は全国に 56000 人おります。そして税理士は 75000 人おり、この中で純粋な試験合格者が 59500 人、会計士は自動的に登録をすればなれるので、これが 8700 人、特別試験とは、簡単に言えば OB 組で、楽な試験で受かるということですが、この特別試験組は今減っているようで、昔は 10000 万人以上いたようですが今は 6300 人です。

国税局は全国に 12 あります。マル査は皆さんご存知だと思いますが、マル査と国税局資料調査課、略して「リョウチョウ」（料・調）というのですが、もっと訳すと料の左側が米とも読めますので、「コメ」とも言うのだそうです。このリョウチョウが非常に怖く、私の事務所も一度だけ受けております。

マル査も一度だけ受けました。マル査には国税犯則取締法というものがあまして、これは厳しいのですが、実績はリョウチョウの方が厳しいので税金が多いのだそうです。そして重加算税とは本税の35%、1億円の税に対して3500万円がとれるわけですから、そのため重加算税を取るような調査でないと効率が悪いわけです。リョウチョウとは大変な方ということをごここでは言っております。

最近税務調査を受けた経験がある方は知っているかもしれませんが、最近の調査は非常に長くなってしまい、ダラダラしてしまいました。国税通則法の改正があつて、昔は1ヵ月で終わったものが、今は3ヶ月位かかります。法律の改正で手続が非常に面倒になってしまったということです。そして時効の期間も3年から5年に延びたということで、色々とは変化はあつたのですが、納税者としては調査が長い方が良いので、この制度で良いかという話も言えるわけです。

コボレ話もこんなところですが、公益法人や公共法人も結構悪いことをします。青森県の住宅供給公社の職員が14億円を使い込んで、チリの女性につき込んだという事件がありました。よくそんなお金が見つかるまでわからなかったと、こうした法人の会計組織もなっていないということです。駆け足となりましたが、最後に良い会社の例として、キーエンスという会社がありますが、まず始めに何が驚くかと言いますと、従業員の平均年収が1600万円だということです。参考までに他の企業、三菱商事あたりでも平均で1300万円です。三井や住友の商社もかなり高く、テレビ関係、日テレは1400万円です。

キーエンスは年商が2000億円くらいで、従業員が2000人いるということですが、この会社がなぜ良いかということ、実は清掃業なのですが、工場を持たないのだそうです。外注で作業をさせるのですが、その作業をさせるまでのコンサルティング業務といった感じで、とにかく工場がないため設備投資が必要なく、そうした面でのお金が必要ないということで、これを「ファブレス」と言うそうです。ファブレス経営をしている会社は他に、皆さんご存知の任天堂、セガ、伊藤園、ダイドードリンコ等、皆工場を持たずに外注方式で行っているとのこと

でした。製造業は設備投資に一番お金がかかりました。本日はありがとうございました。

ニコニコボックス



高柳 清様 (元狭山 RC) 本日はお世話になります。

江原君 本日は元狭山 RC のパスト会長の高柳清様に卓話の時間をお願いしております、お忙しい中お引き受け下さいまして有難うございます。お話し楽しみにしております。宜しくお願い致します。

小島君 高柳 清様ようこそお出で頂きました。お話し楽しみにしております。よろしくお願ひ致します。

浜野君 元狭山 RC 高柳 清様、ようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしています。

稲見君 高柳先生、今日はようこそお出でいただきました。お話し楽しみにしています。

益子君 元狭山 RC 高柳 清様、卓話よろしくお願ひ致します。

守屋君 高柳先生、お忙しいところお出で下さいまして有難うございました。

小幡君 高柳様、本日はようこそ当クラブへ卓話にお出で頂きありがとうございます。

昭和 63 年高柳さんのご推薦で狭山ロータリーに入会させて頂き 28 年過ぎました、おかげでロータリーライフを楽しく過ごしています。

小澤君 高柳先生お久しぶりです。今日は監査関係の卓話楽しみにしております。

佐藤君 本日の外来卓話、高柳清様卓話の依頼を快諾して頂き有難うございました。大先輩のお話し楽しみにしております、宜しくお願い致します。



※次の例会

3月29日(火) ⇒ 例会臨時変更

3月26日・3月27日 地区大会へ振替

会場：3/26日(土)(埼玉グランドホテル本庄)

3/27日(日)(株)カインズ本部カインズホール